

第75回 福島県消防大会

須賀川市で3年ぶりに開催



消防の祭典、第七十五回福島県消防大会は令和四年六月四日（土）、須賀川市「須賀川市文化センター」で（公財）福島県消防協会の主催により、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、本式典の規模を大幅に縮小して、県内の消防団員・消防職員など約四百名が参加し、三年ぶりに開催されました。



大会は、県内の消防関係者が一堂に会し、大会の開催を契機として消防関係者の士気の高揚と団結を図り、安全確保にも意を配し、活力ある消防体制を推進するとともに、地域住民の安全・安心の確保という消防使命達成と、広く県民の防災意識の向上に資するため、毎年開催されてきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により二年連続で中止となっていました。

大会に先立ち、知事荣誉礼が、県消防協会役員及び県内消防関係者により執り行われました。

大会は、片岡芳廣副会長の開会の辞が始まり、国歌斉唱、本県消防殉職者及び殉難者百二十八名の御霊に黙とうを捧げ、吉田秀一会長の式辞の後に、内堀雅雄福島県知事の挨拶、橋本克也須賀川市長の歓迎挨拶がありました。



続いて、福島県消防表彰、県消防協会表彰等の各種表彰が行われ、表彰終了後、秋本敏文日本消防協会会長をはじめ県選出国会議員、県議会議長、県警察本部長、県町村会長等からご祝辞をいただきました。

その後、受賞者を代表して影山圭一郎鏡石町消防団副団長から謝辞が述べられ、各種表彰が滞りなく終了となりました。

次に、「大会宣言」を皆川公一理事、「大会決議」を二瓶重信理事がそれぞれ朗読し、満場一致で賛同されました。

さらに、開催地の善方明夫須賀川支部長から謝辞、次回開催地の吉田秀一喜多方支部長の挨拶があり、斎藤長三郎理事の閉会の辞で大会を終りました。



編集者 福島市中町五番二十一号 福島県消防会館内
公益財団法人 福島県消防協会
印刷人 福島市南矢野目字萩ノ目裏一丁目 村山 広一
電話(福島) (553) 四六〇〇

お出かけは マスク戸締り 火の用心

令和四年度全国統一防火標語



福島県消防協会公式HP
http://zfsk.or.jp/

第四十四回 福島県消防操法大会を開催

令和四年八月二十八日(日)午前八時十五分から、第四十四回福島県消防操法大会が福島県消防学校屋外訓練場において、出場選手、応援者及び大会関係者が参集し、福島県と福島県消防協会の共同主催により、来場者数の制限や大会内容の簡素化などの新型コロナウイルス感染症防止対策を行い、四年ぶりに開催されました。

この大会は、消防団員の消防操法訓練の基礎を培い、消防技術の向上及び消防活動の円滑な遂行に資するため、二年ごとに開催されており、例年ですと「小型ポンプ操法の部」、「ポンプ車操法の部」各々十六チームで競い合いますが、今年度は本県が全国大会の出



場枠がある「ポンプ車操法の部」のみ行われました。

開催に先立ち、消防学校校友会から県消防協会に、審査員ユニフォーム及び補助員キャップの贈呈が行われました。

大会当日は、早朝から厚い雲に覆われ競技の途中から雨が降り出すなど、悪天候の中、出場四チームが日頃の訓練の成果を十二分に発揮し、競い合いました。

今大会の開催にあたり、消防学校教官や県内十二消防本部職員、出場チームの消防団員による会場運営補助員の方々、大会運営スタッフの方々に、大

会準備・運営・審査等の各般にわたり操法大会を支えていただき、ありがとうございました。

大会結果は、富岡町消防団が優勝し、十月二十九日(土)に千葉県市原市にあります千葉県消防学校で開催される第二十九回全国消防操法大会に出場します。また、今年度から操作員ごとに優秀選手賞を設け、表彰することとしました。

競技結果は次のとおりです。

○ポンプ車操法の部

優勝 富岡町消防団

第二位 二本松市消防団

○優秀選手賞(敬称略)

指揮者 小柳 一幸(川俣町消防団)

一番員 武藤 岳史(二本松市消防団)

二番員 渡邊 和考(富岡町消防団)

三番員 安田 尚希(富岡町消防団)

四番員 斎藤 正樹(二本松市消防団)



(機器協会会員)

モリタ式消防ポンプ自動車
シバウラ小型動力ポンプ
消防用設備・設計施工・保守点検

株式会社 ホシノ

会津若松市材木町
一丁目十番二十二号
☎会津若松(26)五六〇〇
郡山支店

(機器協会会員)

ニッキ消防ポンプ
キンパイホース
東部産業株式会社自動車部
シバウラ小型ポンプ


いわき市内郷綴町金谷15番地4
☎ 0246(26)5401

代表取締役 菊池 一隆

— 消防設備総合メンテナンス —

キンパイホース・消火器・避難器具
火災報知設備 **スノーラップ**
その他消防用品一式

(機器協会会員)

防災機器の御用命は 

(有)東北防災センター

代表 夏井一樹
本社 福島市入江町5-7
☎024(634)3389・2540

(機器協会会員)

総合防災用品、NIKKI式消防車
トーハツ消防ポンプ、キンパイホース
NAホスポール

 民間車検場
和田自動車株式会社

郡山市田村町金屋字孫右エ門平57番地
〒963-0725 TEL 024(943)3400(代)
FAX 024(943)3873

(機器協会会員)

株式会社 平成

本社 / 〒971-8122
福島県いわき市小名浜林城字塚前23-1
TEL 0246-58-0047(代)
FAX 0246-58-0080

代表取締役 鈴木庸平

- 雄大な自然都市いわき
- 躍動するネットワーク都市いわき
- のびのび快適生活都市いわき

(機器協会会員)

(有)渡辺鉄工消防用品

トーハツ消防ポンプ
モリタ式消防ポンプ車
消防ホース・消火器
ミヤス自動車消火装置
避難器具・消防被服
鉄骨火の見櫓・他消防用品一式

田村市船引町北町通47
☎(024)7780077
☎(024)7780077

(機器協会会員)

安全と防災
総合安全設備
総合防災設備

消防標識 防災用品
カーブミラー 反射テープ加工
道路安全用品 各種標識
各種消火器

各種作業服

トール株式会社

☎963-0215 郡山市待池台1丁目55-37 ☎024(936)2050(代)

(機器協会会員)

福島消防資材株式会社

トーハツ消防ポンプ・モリタ式自動車ポンプ・ジェットホース・キンパイホース・消火器・避難器具・火災報知機・漏電警報機

福島市五月町八一三七
☎〇二四一五二一五五五五

令和四年度 福島県消防殉職者等慰霊祭

令和四年度福島県消防殉職者等慰霊祭は、(公財)福島県消防協会の主催により第七十五回福島県消防大会前日、令和四年六月三日(金)午後一時三十分から、須賀川市文化センターにおいて、ご遺族をはじめ県内の消防団

長、消防長ほか消防関係者約百名が参列し、厳粛に執り行われました。今回は、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、三年ぶりにご遺族、ご来賓のご参列をいただきました。はじめに、片岡芳廣副会長が開式の



言葉を述べ、続いて本県消防殉職者及び殉難者百二十八名の御霊が吉田秀一会長から奉納されました。参列者全員が黙とうを捧げた後、吉田会長が「本日、ここ須賀川市の『須賀川市文化センター』において、県内の消防団員及び消防職員、殉職者、並びに消防協力殉難者百二十八名の御霊を奉り、令和四年度福島県消防殉職者等慰霊祭を執り行うにあたり、謹んで哀悼の誠を奉げます。(中略)我々消防人



一同は、本日の慰霊祭を契機に、安全・安心で住みよい社会の実現を目指し、精進邁進することこそ、尊霊の御遺徳に報いる道と考え、これからも、なお一層の努力を惜しまないことを御霊の前で謹んでお誓い申し上げます。(後略)」と式辞を述べました。続いて、内堀雅雄知事(渡辺仁危機管理部長代読)、渡辺義信県議会議長、橋本克也須賀川市長から追悼の言葉をいただきました。次に、参列されたご遺族、ご来賓及び関係者が献花を行い、ご冥福をお祈りしました。最後に、吉田会長からご遺族をはじめ参列者に対し、御礼の挨拶を述べ、斎藤長三郎理事の閉式の言葉で終了しました。

東北地区消防連絡協議会 福島県で開催



へ要望書を提出した旨の処理報告がなされました。

続いて、各県から提出された議題の討議が行われ、「消防と福祉の情報共有について」の要望事項、「新入団員確保対策について」、「コロナ禍における効果的な訓練、研修のあり方について」、「消防団員の確保対策の推進について」、「防災士について」の協議事項について、活発な意見交換が行われました。

審議が終了し、次年度の開催について開催順番表のとおり、秋田県で開催することを確認し、高橋正尚秋田県消防協会長から挨拶がありました。

最後に、「ふくしまの酒 全国新酒鑑評会金賞受賞数九回連続日本一の軌跡」と題して、福島県酒造組合特別顧問の鈴木賢二氏の講演が行われ、連絡協議会は閉会となりました。

令和四年度東北地区消防連絡協議会が、令和四年七月二十七日(水)、福島市「ウエディングエルティ」において開催され、東北六県及び新潟県の各消防協会長、副会長並びに事務局長等が出席し、要望事項や協議事項について討議が行われました。今年度は、本県が幹事県であるため、県協会理事・監事にも出席していただきました。協議会では、消防殉職者等に対し黙とうを行った後、吉田秀一福島県消防協会長の挨拶に続き、福島県知事(代理) 渡辺仁危機管理部長、福島市長(代理) 田中政幸副市長)の来賓挨拶がありました。



議題の審議に入り、前年度決議された要望事項については、昨年度幹事県の山下修治岩手県消防協会長から、総務省消防庁及び(公財)日本消防協会

第四十一回 全国消防殉職者慰霊祭

(公財) 日本消防協会主催、総務省消防庁後援による第四十一回全国消防殉職者慰霊祭は、令和四年九月十五日(木) 午前十時からニッショーホールにおいて、全国の消防殉職者のご遺族

をはじめ、消防関係者等が参列し執り行われました。新型コロナウイルス感染症防止のため、昨年度はご遺族のご参列がありませんでしたが、今年度はご遺族にもご参列いただいたの開催となりました。

今年度は、新たに八柱の御霊が合祀され、全国で殉職された御霊は五千七百八十四柱となりました

慰霊祭は、開式の言葉に始まり、御霊の奉納、国歌演奏、消防殉職者に対する黙とう、秋本敏文日本消防協会長の式辞の後、来賓の岸田文雄内閣総理大臣、寺田稔総務大臣、遺族代表で岩手県の千葉敦子様から追悼のお言葉をいた



ました。今年度は、新たに八柱の御霊が合祀され、全国で殉職された御霊は五千七百八十四柱となりました

きました

続いて、参列者が献花を行い、御霊のご冥福を祈りました。最後に、江戸消防記念会による鎮魂の歌(木遣り)及び秋本会長の挨拶で終了しました。本県から参列されたご遺族代表は次のとおりです。

- 山本 裕子様 (喜多方市)
- 丑木ケイ子様 (会津若松市)
- 渡辺 友美様 (浪江町)



福島トヨタ
自動車株式会社

福島市太平寺字沖高二五
☎024-15461000

(機器協会員)

(機器協会員)

ISUZU
いすゞ自動車東北株式会社

福島支社 福島市岡島字長岬6-7
☎024(572)3663(代)

福島支店 ☎024(572)6414(代)
郡山支店 ☎0248(72)2020(代)
いわき支店 ☎0246(58)4081(代)
会津支店 ☎0242(24)3455(代)
相双営業所 ☎0244(24)3255(代)
本宮営業所 ☎0243(63)2660(代)
白河営業所 ☎0248(22)7125(代)

(機器協会員)

総合消防設備

消防備品、消防設備点検、防火対象物点検

援護化学株式会社

代表取締役 滝田 吉宏

本社 郡山市図景1丁目17-24
(024)932-0440(代)

営業所 会津若松市建福寺前1-25
(0242)27-1056

(機器協会員)

福島日野自動車株式会社

本社 郡山支店
郡山市安積町菅川字橋田五ノ一
☎024-1945(代) 六六五

福島支店
福島市荒井北二丁目1-1
☎024-1593(代) 〇三三

いわき支店
いわき市小名浜島字露地六番地1
☎0246-1581(代) 八八一

白河支店
西白河郡泉村大字崎崎字工業団地二二一
☎0248-1541(代) 〇三五

会津営業所
会津若松市神指町大字北四合字横沼東〇一
☎024-117(代) 二二三

相双営業所
相馬市柚木字大岡七二一五
☎0244-136(代) 〇三八五

モリタ式消防ポンプ自動車
シバウラ小型動力ポンプ
消防用設備・設計施工・保守点検

郡山防災センター
(株式会社ホシノ郡山支店)

郡山市久留米三丁目二十七番地
☎024-19451899(代表)

(機器協会員)

あらゆるパッチ
盾・トローリー
消防関係印章のご用命は
すべて記念品
当店にどうぞ

有限
会社
美
光

福島市西中央三丁目一六番一五号
TEL(〇二四)(534)〇二五五
FAX(〇二四)(534)六六五七

(機器協会員)

(機器協会員)

普通免許対応車両総重量3.5未満
CD-1型 ミラクルLight

ALTESIMO
アルミ製蓄圧式
粉末消火器



人と地球のいのちを守る

MORITA

株式会社 モリタ
モリタ宮田工業株式会社

〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町3丁目8番55号
TEL.022-238-6461

仙台支店
TEL.022-238-4771

東北営業部

(機器協会員)

トーマツ消防ポンプ
モリタ式自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服

消防用金具器具
消火器具
避難器具・保護具
火災報知機
その他消防用品一式

水
社

本社 いわき市平字古鍛冶町4
☎(0246)23-1616(代)
FAX(0246)23-1979

白河営業所 白河市字大島居橋前83-14
☎(0248)23-3600
FAX(0248)23-4134

福島県消防協会 新会長 吉田秀一氏就任

令和四年度 定時評議員会開催

令和四年五月十三日(金)午後一時三十分から、(公財)福島県消防協会の定時評議員会が、杉妻会館で評議員十二名、理事七名、監事一名が出席して開催されました。

会議では、令和三年度事業報告・決算及び令和四年度事業計画・予算などが審議され、全全会一致で承認されました。続いて、評議員二十一名中十名から辞任届が提出されたことを受け、理事

会から推薦のあった補欠候補者十名について、各々採決を行った結果、全員異議なく賛成をもって可決されました。また、理事九名、監事二名が改選になるため、新たに選任が行われ、併せて、顧問の選定が行われました。このほか、第七十五回福島県消防大会の「大会宣言」及び「大会決議」についても、承認されました。

令和四年度 第二回理事会開催

定時評議員会終了後、先の評議員会

で選任された理事・監事による理事会が開催され、新たに会長と副会長の選任が行われました。

会長には喜多方市消防団長の吉田秀一理事、副会長には須賀川市消防団長の善方明夫理事、南相馬市消防団長の片岡芳廣理事が選ばれました。

知事表敬訪問

福島県消防協会の新役員体制が発足したことに伴い、吉田会長、善方副会長及び片岡副会長が内堀雅雄福島県知事に挨拶するため、五月三十一日(火)に福島県庁を訪問しました。

令和四年度 第一回理事会開催

知事との会談の中で、吉田会長は「消防団員が自信と誇りを持って活動できる環境を整えていきたい」と抱負を語りました。また、知事表敬訪問後、福島民報社、福島民友新聞社を訪問し、就任の挨拶を行いました。

定時評議員会に先立ち、四月二十一日(木)に、杉妻会館で令和四年度第一回理事会が開催されました。会議では、はじめに、令和三年度事業報告及び決算について、次に、六月四日(土)に須賀川市において開催予定の第七十五回福島県消防大会に関して、大会宣言・大会決議について審議がなされ、後日開催の評議員会に提案することに決定しました。

さらに、来年度の消防大会の開催地及び開催時期について審議がなされ、出席理事により承認されました。続いて、改選に伴う理事・監事候補者、辞任届の提出があった評議員の後任の補欠候補者について審議を行い、併せて、顧問の推薦が行われ、後日開催の評議員会に提案することに決定しました。

最後に、定時評議員会を五月十三日(金)に開催することを決議し、閉会となりました。

(公財)福島県消防協会新役員紹介

- 会長 吉田 秀一(喜多方市消防団長)
- 副会長 善方 明夫(須賀川市消防団長)
- 理事 片岡 芳廣(南相馬市消防団長)
- 理事 斎藤長三郎(福島市消防団長)
- 二瓶 重信(郡山市消防団長)
- 皆川 公一(会津若松市消防団長)
- 恩田 泰行(いわき市消防団長)
- 安藤 昭夫(福島市消防本部消防長)
- 大沼 伸之(郡山地方広域消防本部消防長)
- 渡邊 守夫(二本松市消防団長)
- 木田 廣明(塙町消防団長)

(公財)福島県消防協会新評議員紹介

- 大和田積蔵(田村市消防団長)
- 白川 充一(古殿町消防団長)
- 佐藤 廣明(会津美里町消防団長)
- 星 慶一(南会津町消防団長)
- 松本 信夫(葛尾村消防団長)
- 須藤 邦夫(安達地方広域行政圏消防本部消防長)
- 内山 誠(白河地方広域市町村圏消防本部消防長)
- 岩橋 隆明(喜多方地方広域市町村圏消防本部消防長)
- 大嶺 常貴(いわき市消防本部消防長)
- 太田 秀明(相馬地方広域消防本部消防長)



新役員体制が発足したことに伴い、吉田会長、善方副会長及び片岡副会長が内堀雅雄福島県知事に挨拶するため、五月三十一日(火)に福島県庁を訪問しました。

(機器協会員)

〈総合防災〉

消火器・シバウラ消防ポンプ・消防ホース・各種消防防災用品・火報設備・避難設備・消防設備 保守点検設備

会星産業株式会社

白河市古高山3-138
☎0248(22)5504

(機器協会員)

各種消防ポンプ自動車メーカー

日本機械工業株式会社 仙台営業所

仙台市青葉区一番町1丁目10番36号
TEL 022-222-8831
FAX 022-223-6660

— 福島県下代理店 —

東部産業(株)自動車部 いわき市(26)5401
和田自動車(株) 郡山市(943)3400

(機器協会員)

会津消防用品株式会社

会津若松市松町二丁目一
☎会津若松☎五一五一

消防ポンプ自動車・小型動力ポンプ・消防ホース・消火器・防火衣・火災報知設備・積載車艙装 消防設備保守点検

(機器協会員)

福島県知事許可
総合防災設備設計・施工・保守点検・消防資材一式・他弱電工事

明和電気防災(株)

福島市上鳥渡沢沢22-3
☎(024)593-2131

令和四年 春の叙勲(消防関係)

全国の受章者は、六二二名(瑞宝小 綬章三五名、旭日双光章五名、瑞宝双 光章九〇名、瑞宝単光章四九二名)と なっています。(発令四・四・二九) 福島県関係では、次の方々が受章さ れました。

●瑞宝双光章(二名) 元会津若松地方広域市町村圏整備組合 消防正監 山内志津夫

●元会津坂下町消防団 団長 山内真一

●瑞宝単光章(一六名) 元小野町消防団 団長 猪狩信男

●元双葉町消防団 団長 石井義幸

●元相馬市消防団 副分団長 石橋安夫

●元喜多方市消防団 分団長 宇津味守温

●元福島市消防団 分団長 遠藤武嘉

●元会津若松市消防団 分団長 大須賀錦一

●元桑折町消防団 団長 佐藤富博

●元柳津町消防団 団長 鈴木力

●元伊達市消防団 団長 高橋貞雄

●元田村市消防団 団長 飛田充

●元檜枝岐村消防団 団長 星清夫

●元南会津町消防団 副団長 星敏之

●元二本松市消防団 分団長 松山光男

●元原町市消防団 副分団長 宮本晃吉

●元福島市消防団 分団長 八代有一

●元福島市消防団 副団長 山田誠

令和四年 春の褒賞(消防関係)

全国の受章者は、一一〇名(紅綬褒 章六名、黄綬褒章七名、藍綬褒章九七 名)となっています。(発令四・四・二九) 福島県関係では、次の方々が受章さ れました。

●藍綬褒章(六名) 現須賀川市消防団 副団長 五十嵐伸

●現飯館村消防団 副団長 大和田保男

●現天栄村消防団 副団長 兼子浩一

●現南会津町消防団 副団長 平野睦夫

●現猪苗代町消防団 団長 六角武志

●現本宮市消防団 団長 渡辺明弘

第三十八回 危険業務従事者叙勲(消防関係)

全国の受章者は、六三一名(瑞宝双 光章三二八名、瑞宝単光章三二三名) となっています。(発令四・四・二九) 福島県関係では、次の方々が受章さ

れました。

●瑞宝双光章(三名) 元会津若松地方広域市町村圏整備組合 消防監 諏訪和哉

●元郡山地方広域消防組合 消防監 早川和典

●元会津若松地方広域市町村圏整備組合 消防監 山口隆博

●瑞宝単光章(九名) 元郡山地方広域消防組合 消防司令長 石井正三

●元相馬地方広域市町村圏組合 消防司令補 小林義胤

●元福島市 消防司令長 柴山安弘

●元須賀川地方広域消防組合 消防司令長 鈴木直衛

●元福島市 消防監 露崎信一

●元相馬地方広域市町村圏組合 消防司令長 本間英世

●元須賀川地方広域消防組合 消防司令長 前田勇

●元いわき市 消防司令長 松崎正

●元いわき市 消防司令長 山添鞆正

火災共済に加入しましょう

まさかの時にお役に立ちます!



風水雪害や地震等にも共済金や見舞金を支給
お問い合わせ
生活協同組合全日本消防人共済会
TEL 03-6263-9822 http://www.shouboujin.or.jp/

消防個人年金

7つのポイント

毎月加入 ができます!

- 1 最長70歳まで積立てが可能な、公的年金の補完ができる制度です。
- 2 予定利率(※1) 1.25%(令和4年5月1日時点(将来変動することがあります。))
- 3 月払、半年払、月払・半年払併用払から選択でき、月払の場合、毎月10,000円(ゆうちょ銀行の口座から振替の場合は5,000円)から加入できます。さらに、加入時・加入期間中に、まとまった資金を一時払として払い込むことができます。
- 4 保険料は、生命保険料控除の対象となります。(※2)
- 5 消防団員・消防職員の退団・退職後も継続できます。
- 6 途中で脱退しても、積立金(脱退一時金)を受け取ることができます。
- 7 現在約16,000名の方が加入され、約11,000名の方が年金を受け取られております。(※3)

(※1) 「予定利率」は保険料(掛金から運営事務費を除いたもの)のうち、引受保険会社の保険事務費等を控除した額に対する利率であり、払い込んだ掛金額に対する利率ではありません。予定利率は預金等の利回りとは異なります。
(※2) 上記のお取り扱い、令和4年4月時点の法令等にもとづいたものであり、将来的に変更されることもあります。
(※3) 記載の人数は、令和3年度決算時点の実績です。